令　和　４　年　７　月　１　５　日
魚沼農業振興協議会魚沼米振興部会

草丈は 6/30～7/11 で 18cm も伸長！

草丈長い！

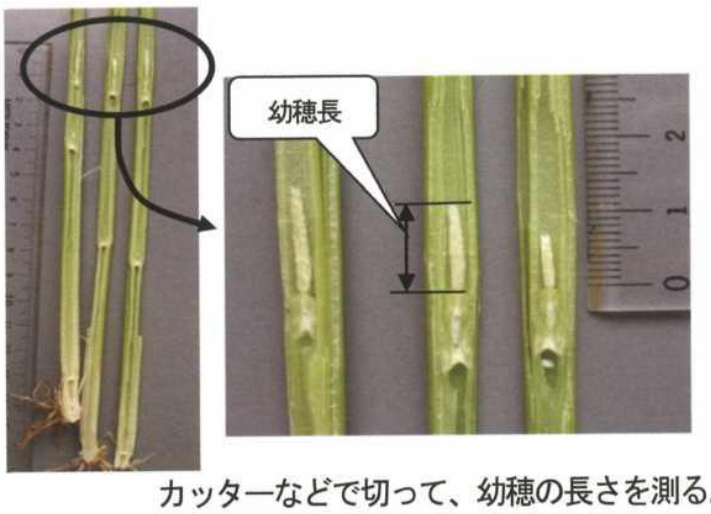
葉色（SPAD 値）は、6/30～7/11 で４．２ポイント低下

葉色は急激に低下

～収量確保と栄養維持のため１回目穂肥は生育診断により適切に施用

○コシヒカリ穂肥対応の考え方

１回目の穂肥は、籾の退化を防ぎ高温に備えるため、適切にね！



カッターなどで切って、幼穂の長さを測る。

１　分施体系の１回目穂肥対応

穂肥施用時の稲姿（出穂 18 日前：幼穂長 1 cm）	穂肥対応の考え方	穂肥施用のめやす	
		施用時期	窒素施用量
穂肥のできる稲姿(基準) 草丈：75 cm以下 葉色：SPAD 34(葉色板(単葉 4.4)	基準どおりの時期・量を施用	出穂前 18 日 (幼穂長 1cm)	1.0～1.5 kg/10a
基準より草丈長く、葉色淡い	遅めに施用	出穂前 15 日 (幼穂長 2～3cm)	1.0 kg/10a

２　分施体系の 2 回目の穂肥対応

・出穂 10 日前に遅れず確実に施用しましょう。
（但し、1 回目穂肥を遅らせた場合は、1 回目の 1 週間後に施用。
・1 回目穂肥をしなかった場合は、施用量の増施を検討する。

２回目穂肥は確実にね！

３　基肥一発の追加穂肥対応

出穂期までの葉色値（SPAD 値）が 32-33（葉色板(単葉)4.3～4.5）を下回ると予想される場合は、2 回目穂肥施用時期に施用しましょう。

※穂肥施用時は、肥効を高めるため湛水する。また、飽水管理で窒素成分の発現を促す。